



2022年3月期 第1四半期決算説明会

1. 2022年3月期第1四半期決算概要
 2. 2022年3月期業績見通し
- * 2022年3月期より収益認識会計基準を適用

2021年8月12日
森永乳業株式会社

1. 2022年3月期第1四半期決算概要

* 2022年3月期より収益認識会計基準を適用

2022年3月期第1四半期決算概要



サマリー：営業利益大幅増益

- **売上高：1,282億円（*前年比+3.5%）** *収益認識会計基準を適用した前年実績との比較
- 営業利益：99億円（*前年差+25億円）**

売上高

- 高付加価値商品や健康に貢献する商品の継続的な拡大
→ ヨーグルト、アイスクリームなど増収
- 新型コロナウイルス感染症拡大、特に前年4,5月の緊急事態宣言の影響からの反動
→ B to B 事業：業務用乳製品（外食・ホテル・観光・お土産需要）大幅増収
B to C 事業：ビバレッジ、市乳（オフィス・施設需要）堅調に推移
チーズ、牛乳（家庭内・巣ごもり需要）減収
- 海外事業：育児用ミルク輸出の反動減も、ミライ社堅調、Elovi社連結子会社化

営業利益

- **継続的なプロダクトミックス改善、B to B 事業など増収効果、コストの見直しなどにより大幅増益**
- **プロダクトミックス改善などが想定を上回る寄与**

2022年3月期第1四半期業績



(単位：億円)

	2021/3期 1Q	2021/3期 1Q適用後	2022/3期 1Q	対前年 増減額*	対前年 増減率*
売上高	1,489	1,238	1,282	+44	+3.5%
営業利益	73	73	99	+25	+34.2%
経常利益	80	80	103	+23	+28.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48	48	93	+45	+92.6%
売上高 営業利益率	4.9%	5.9%	7.7%		

- 増収増益（実質ベース）。増収効果、PM改善などにより増益
- 営業利益、経常利益、四半期純利益：1Qとしては最高益更新
- 四半期純利益：森永乳業港南ビル売却による特別利益41億円計上

*対前年増減額、増減率は、収益認識会計基準を適用した21/3期1Q実績との比較

事業分野別売上高、営業利益実績



(単位：億円)

	売上高			営業利益（営業利益率）		
	2021/3期 1Q適用後	2022/3期 1Q	対前年 増減率*	2021/3期 1Q適用後	2022/3期 1Q	対前年 増減額*
B to C 事業	687	703	+2.3%	51 (7.4%)	59 (8.4%)	+8
ウェルネス事業	107	109	+1.8%	10 (8.9%)	9 (8.3%)	±0
B to B 事業	163	198	+21.3%	4 (2.2%)	10 (5.2%)	+7
海外事業	97	101	+3.7%	15 (15.0%)	20 (20.1%)	+6
その他・消去	184	172	△6.7%	△5 (-%)	0 (-%)	+5
合計	1,238	1,282	+3.5%	73 (5.9%)	99 (7.7%)	+25

- B to C 事業：高付加価値商品などの拡大によるプロダクトミックスの改善
- ウェルネス事業：育児用ミルクは減収も、「ミルク生活」拡大、クリニック増収。健康食品などの販促強化によるコスト増
- B to B 事業：外食・観光需要などの反動増による業務用乳製品の増収。機能性素材への高い関心は継続
- 海外事業：育児用ミルク輸出の反動減。ミライ社堅調。Elovi（エロヴィ）社連結子会社化

*対前年増減率、増減額は、収益認識会計基準を適用した21/3期1Q実績との比較

B to C 事業商品分野別販売実績（単体）



（単位：億円）

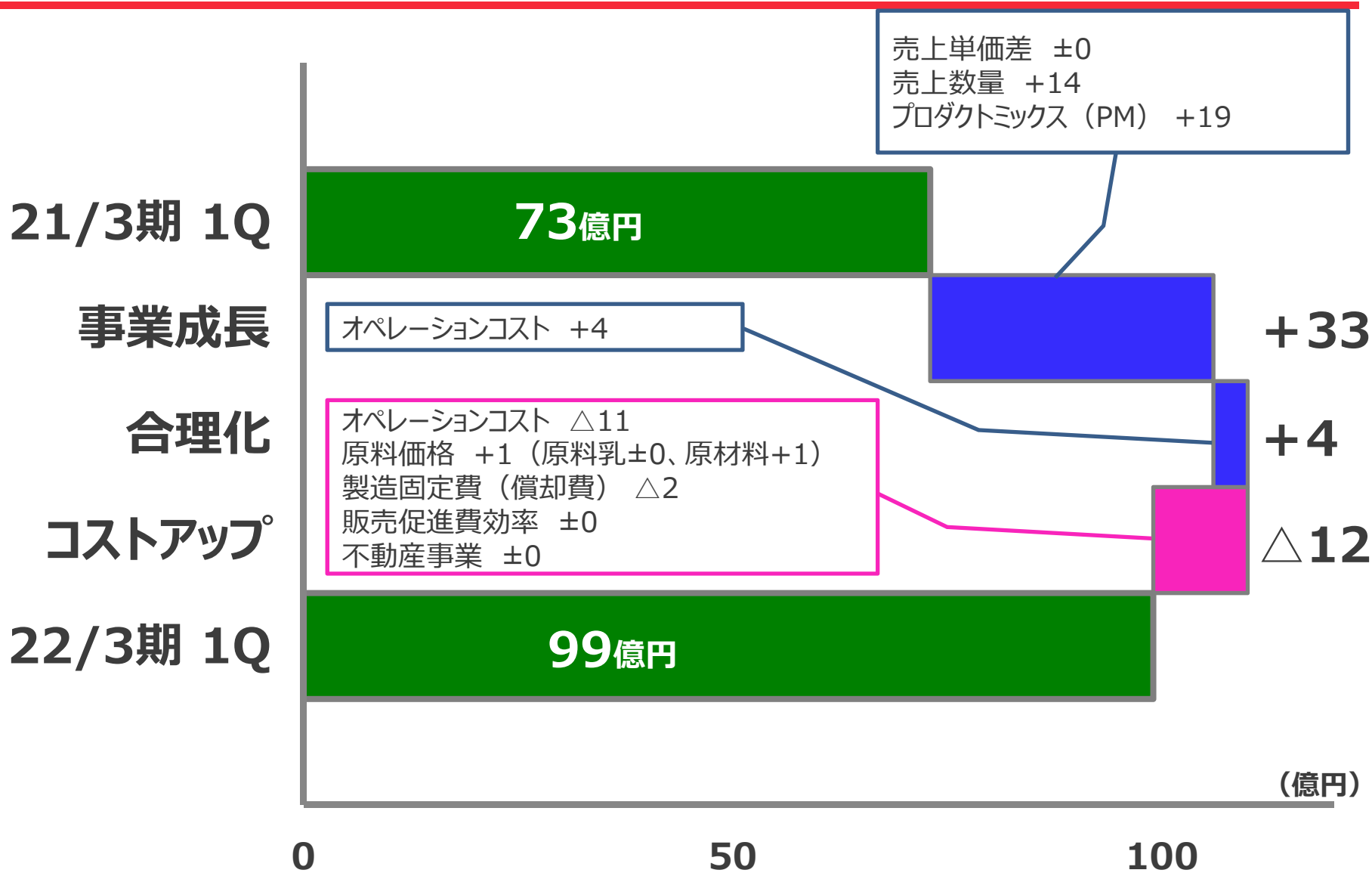
	2021/3期 1Q適用後	2022/3期 1Q	対前年増減率*
ビバレッジ	121	122	±0%
ヨーグルト	134	139	+3%
アイスクリーム	113	117	+3%
チーズ	73	67	△9%
牛乳	144	143	△1%
デザート	21	21	△2%
市乳（宅配など）	47	50	+7%
基幹ブランド計**	288	295	+3%

- ・ ヨーグルト、アイスクリーム：健康に貢献する商品、高付加価値商品の拡大（機能性ヨーグルト、アイス基幹ブランド）
- ・ ビバレッジ、市乳：オフィス、施設需要の反動増。癒しを訴求したプロモーションなどによる「マウントレーニア」の拡大
- ・ チーズ：家庭内・巣ごもり需要の反動減
- ・ 基幹ブランド：「パルテノ」「ピノ」「モウ」「モッツアレラ」など堅調。「ビヒダス」はプレーンの反動減もブランド計は微減

*対前年増減率は、収益認識会計基準を適用した21/3期1Q実績との比較

**基幹ブランド計：マウントレーニア、ビヒダスヨーグルト、森永アロエヨーグルト、パルテノ、パルム、ピノ、モウ、フレッシュモッツアレラ、計8ブランド合計

営業利益増減要因



2. 2022年3月期業績見通し

* 2022年3月期より収益認識会計基準を適用

2022年3月期業績見通し



(単位：億円)

	2021/3 通期 適用後	2022/3 通期計画	対前年 増減額*	対前年 増減率*	2021/3 上期 適用後	2022/3 修正後 上期計画	対前年 増減額*	対前年 増減率*	当初 計画差
売上高	4,887	5,020	+133	+2.7%	2,525	2,633	+108	+4.3%	+13
営業利益	289	310	+21	+7.4%	170	206	+36	+21.5%	+21
経常利益	301	318	+17	+5.6%	178	212	+34	+18.8%	+21
親会社株主に帰属する 当期純利益	187	353^{**}	+166	+88.3%	117	169^{**}	+52	+44.8%	+15
売上高 営業利益率	5.9%	6.2%							
ROE (当期純利益/自己資本)	9.9%	16.4%							

上期上方修正、通期修正なし

- **上期計画：1Qの進捗を鑑み修正**（営業利益計画：185億円 → 206億円）
 - **通期計画：修正なし。**新型コロナの影響や原材料・エネルギー価格の動向など先行きが不透明なため。営業利益計画310億円の達成に向けて取り組む
- ** 固定資産譲渡による特別利益約201億円（税引前）発生見込み（1Q実績:41億円、4Q:161億円）

*対前年増減率、増減額は、収益認識会計基準適用後の数値との比較

事業分野別売上高、営業利益計画

上期修正



(単位：億円)

2022/3期 計画	売上高					営業利益（営業利益率）				
	上期 修正後			通期		上期 修正後			通期	
	売上高	対前年 増減率*	当初 計画差	売上高	対前年 増減率*	営業利益	対前年 増減額*	当初 計画差	営業利益	対前年 増減額*
B to C事業	1,422	+2.1%	+3	2,666	+1.6%	130 (9.1%)	+19	+15	174 (6.5%)	+12
ウェルネス事業	215	+1.8%	±0	437	+1.5%	18 (8.4%)	+1	±0	36 (8.2%)	+1
B to B事業	404	+15.7%	+10	797	+7.4%	22 (5.4%)	+12	+2	44 (5.5%)	+17
海外事業	204	+6.9%	±0	408	+10.9%	34 (16.7%)	+7	+2	61 (15.0%)	+6
その他・消去	388	+1.8%	±0	712	△1.6%	2 (0.5%)	△1	+2	△4 (-%)	△16
合計	2,633	+4.3%	+13	5,020	+2.7%	206 (7.8%)	+36	+21	310 (6.2%)	+21

- B to C事業：機能性ヨーグルト、アイスクリームなどの売上増、プロダクトミックス改善を想定
- B to B事業：業務用乳製品の1Qの進捗を踏まえ修正
- 海外事業：ミライ社の寄与など

*対前年増減率、増減額は、収益認識会計基準適用後の数値との比較

B to C 事業商品分野別販売計画（単体）

上期、通期
修正なし



（単位：億円）

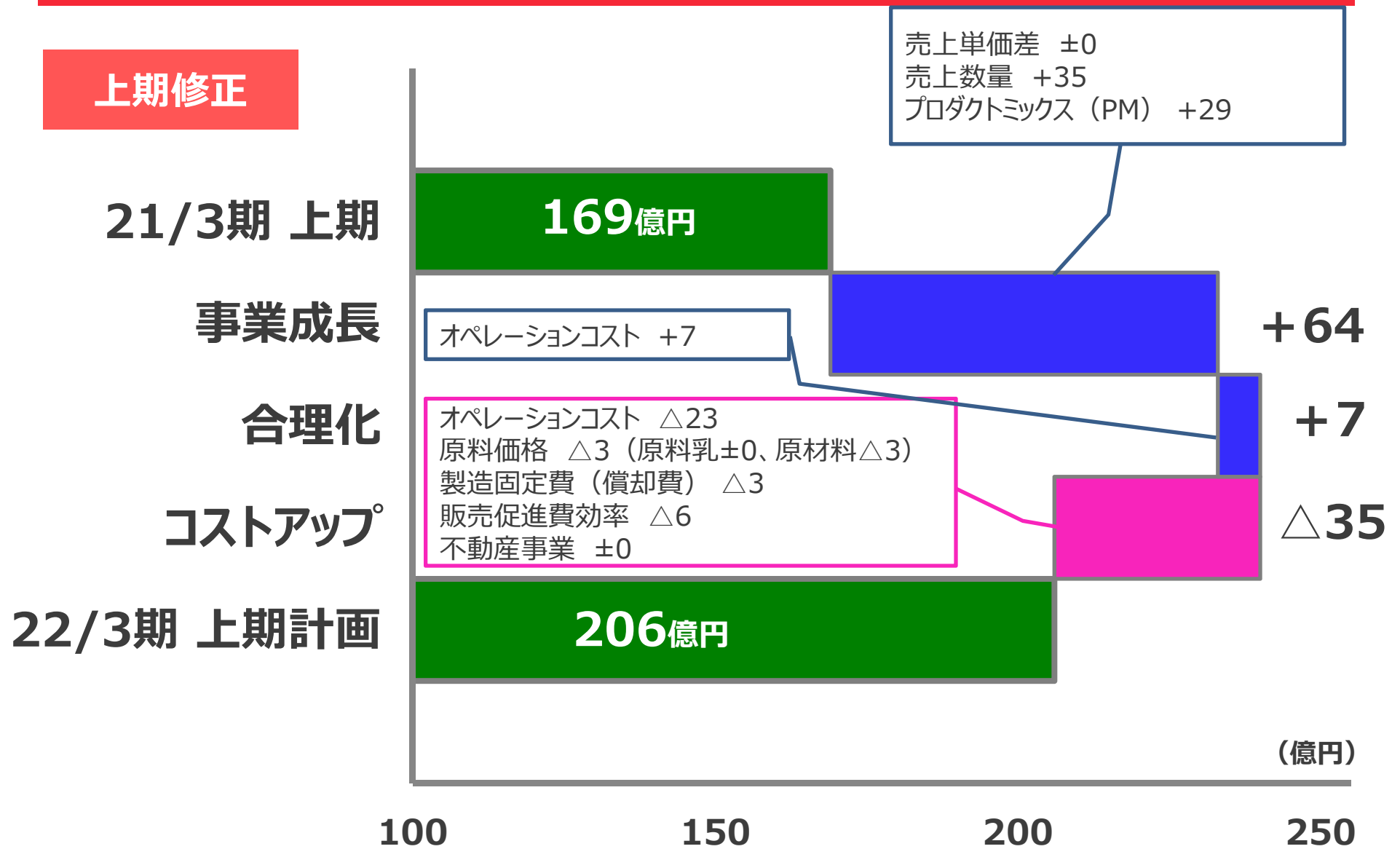
2022/3期計画	上期		通期	
	売上高	対前年増減率*	売上高	対前年増減率*
ビバレッジ	262	+1%	484	+1%
ヨーグルト	280	+5%	554	+7%
アイスクリーム	251	+5%	397	+3%
チーズ	138	△2%	277	+2%
牛乳	286	+1%	545	+2%
デザート	37	△9%	72	△8%
市乳（宅配など）	101	+5%	203	+3%
基幹ブランド計	601	+2%	1,088	+2%

*対前年増減率は、収益認識会計基準適用後の数値との比較

営業利益増減見通し 2022年3月期上期計画（修正後）



上期修正

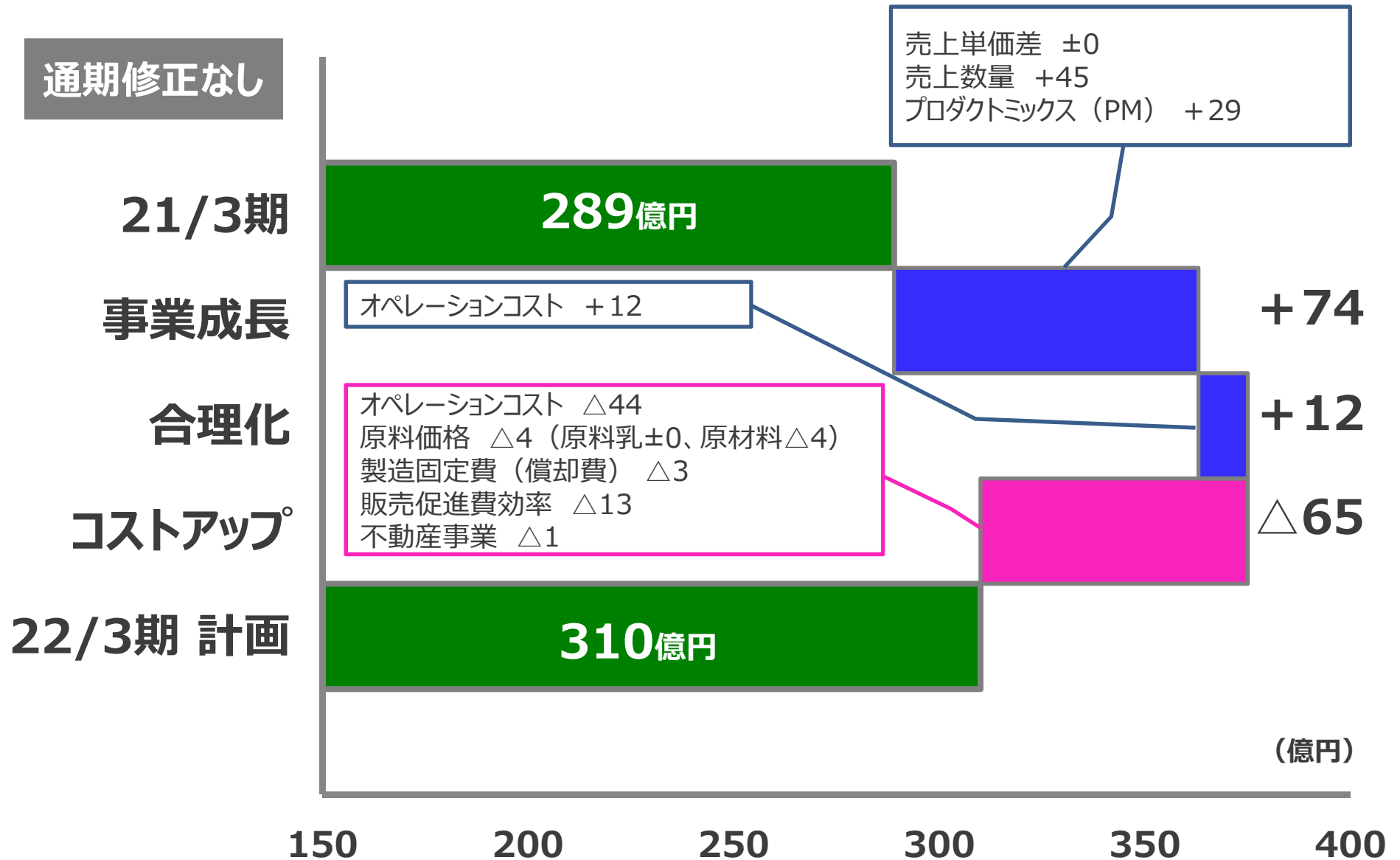


売上単価差 ±0
 売上数量 +35
 プロダクトミックス (PM) +29

オペレーションコスト +7

オペレーションコスト Δ23
 原料価格 Δ3 (原料乳±0、原材料Δ3)
 製造固定費 (償却費) Δ3
 販売促進費効率 Δ6
 不動産事業 ±0

営業利益増減見通し 2022年3月期通期計画（修正なし）



売上単価差 ±0
 売上数量 +45
 プロダクトミックス (PM) +29

オペレーションコスト +12

オペレーションコスト △44
 原料価格 △4 (原料乳±0、原材料△4)
 製造固定費 (償却費) △3
 販売促進費効率 △13
 不動産事業 △1



かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。

なお、この資料における記載金額については、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が合わない場合があります。また、特に注記のない場合は、累計値を表示しています。